

ひとわざ(一技)名: 有害鳥獣対策事業

1. 概要(200字目安)

近年県内のみならず、全国的に益々深刻な問題の有害鳥獣被害が増加する中、その対策の一つとして個体数調整(駆除)が、対策協議会、猟友会、など中心に実施されている。平成11年より、弊社は標記事業に取り組み下記自社製品の開発～販売をしている。

- ☆猪捕獲檻、☆鹿捕獲檻、☆サル捕獲檻、☆ハクビシン等小型動物捕獲檻
- ☆クマ捕獲檻、☆カラス捕獲檻、☆各種特注捕獲檻
- ☆囲い罠(多頭捕獲)
- ☆くくり罠

写真・図(要点説明)



左 檻
センサー
付き捕獲
檻(奥)



左 檻
サル捕
獲檻



左 檻
ドラム缶
式
クマ捕獲
檻



左 くくり
罠
掘らずに
設置
『アニマ
ルヒット
2』
掘って設
置
『アニマ
ルヒット
3』

2. 企業概況

会社名	株式会社藤沢精機	代表者名	保科 忠由		
		窓口担当	保科 忠由		
事業内容	電気機械器具製造業	URL	-		
主要製品	園芸用資材、有害鳥獣対策猟具、光学機器組立、他自社製品の開発、販売				
住所	〒396-0213長野県伊那市高遠町東高遠2170(桜の名所＝高遠公園近く)				
電話/FAX	0265-94-5170/94-5160	E-mail	k.22-fujisawa-30@fancy.ocn.ne.jp		
資本金(百万円)	10	設立年月日	昭和42年2月	売上(百万円)	-
				従業員数	5名

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他

- * 有害鳥獣被害が拡大する中、対策として当社の檻・罠が大活躍です。
- * 全国の地方自治体で活用されています。